

第4回研究会

中国の林業財政投資政策に関する研究

国家林業局経済発展研究センター・副研究員

劉 浩

1978年の経済開放改革政策を導入して以来、中国経済は長期にわたって急速な成長を遂げており、それに伴う政府の財政収入も増加し続けている。公共財政の支出は、主に国有企業経営を中心とする経済活動から徐々に公共財政と民生重視の財政へと移行しつつある。特に近年になって中国政府は生態環境の保全政策を最重要課題に位置づけるなど環境問題を重視しはじめるようになり、林業政策の発展方向性も変化してきた。それは木材生産を優先さず開発モデルから、社会、経済、生態環境との調和的な関係を追求し、持続可能な発展とグリーンな生産様式の定着を図ろうとしている。こうした背景のもとで、林業への財政投資が段階的に増加しており、投資の種類や形態もますます多様化している。本報告では公式な統計データとプロジェクトによる調査データに基づき、政策背景とその必要性、財政投資の種類、動向、効果および既存の問題点等いくつかの方面から考察し、中国における林業の財政投資に関する政策の現状を明らかにする。特に中国の林業重点プロジェクトの実施状況に焦点を当てて紹介を行い、林業の公共財投資システムをより機能させるための対策を検討することが本報告の目的である。